

ダイワ短期国際機関債ファンド (毎月分配型)－成長の絆－ (年2回決算型)－成長の絆(年2回)－

運用報告書 (全体版)

毎月分配型
 第79期 (決算日 2021年 8月23日)
 第80期 (決算日 2021年 9月21日)
 第81期 (決算日 2021年10月21日)
 第82期 (決算日 2021年11月22日)
 第83期 (決算日 2021年12月21日)
 第84期 (決算日 2022年 1月21日)
 年2回決算型 第13期 (決算日 2022年 1月21日)
 (作成対象期間 2021年 7月22日～2022年 1月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	毎月分配型	2015年 1月22日～2025年 1月21日
	年2回決算型	2015年10月15日～2025年 1月21日
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 お問い合わせ先（コールセンター）
 TEL 0120-106212
 (営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5649>
<2702>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純総 資産額
	(分配落)	税込 分配 金 円	期中 騰落 率 %	(参考指数)	期中 騰落 率 %			
55期末(2019年8月21日)	6,544	40	△ 6.0	9,787	△ 4.6	93.1	—	1,729
56期末(2019年9月24日)	6,747	40	3.7	10,006	2.2	93.9	—	1,767
57期末(2019年10月21日)	6,802	40	1.4	10,241	2.4	94.5	—	1,767
58期末(2019年11月21日)	6,785	40	0.3	10,190	△ 0.5	94.6	—	1,731
59期末(2019年12月23日)	6,948	40	3.0	10,481	2.9	95.4	—	1,716
60期末(2020年1月21日)	7,016	40	1.6	10,701	2.1	95.7	—	1,716
61期末(2020年2月21日)	6,922	40	△ 0.8	10,773	0.7	94.9	—	1,683
62期末(2020年3月23日)	5,792	40	△15.7	9,171	△14.9	90.9	—	1,394
63期末(2020年4月21日)	5,613	40	△ 2.4	9,309	1.5	89.5	—	1,294
64期末(2020年5月21日)	5,789	40	3.8	9,644	3.6	90.3	—	1,333
65期末(2020年6月22日)	5,869	40	2.1	9,834	2.0	92.4	—	1,339
66期末(2020年7月21日)	5,898	40	1.2	9,953	1.2	92.8	—	1,343
67期末(2020年8月21日)	5,667	40	△ 3.2	9,840	△ 1.1	92.6	—	1,269
68期末(2020年9月23日)	5,634	40	0.1	9,845	0.1	93.0	—	1,255
69期末(2020年10月21日)	5,649	40	1.0	9,926	0.8	94.5	—	1,207
70期末(2020年11月24日)	5,755	40	2.6	10,198	2.7	94.3	—	1,217
71期末(2020年12月21日)	5,832	40	2.0	10,482	2.8	94.7	—	1,229
72期末(2021年1月21日)	5,815	30	0.2	10,449	△ 0.3	96.0	—	1,175
73期末(2021年2月22日)	5,898	30	1.9	10,523	0.7	95.3	—	1,144
74期末(2021年3月22日)	5,925	30	1.0	10,528	0.0	95.0	—	1,146
75期末(2021年4月21日)	5,883	30	△ 0.2	10,519	△ 0.1	94.6	—	1,098
76期末(2021年5月21日)	6,018	30	2.8	10,748	2.2	93.6	—	1,100
77期末(2021年6月21日)	6,018	30	0.5	10,818	0.7	93.4	—	1,079
78期末(2021年7月21日)	5,938	30	△ 0.8	10,699	△ 1.1	94.8	—	1,027
79期末(2021年8月23日)	5,839	30	△ 1.2	10,587	△ 1.0	94.2	—	996
80期末(2021年9月21日)	5,903	30	1.6	10,658	0.7	95.3	—	972
81期末(2021年10月21日)	6,127	30	4.3	10,983	3.0	94.1	—	977
82期末(2021年11月22日)	5,786	30	△ 5.1	10,708	△ 2.5	94.4	—	905
83期末(2021年12月21日)	5,595	30	△ 2.8	10,570	△ 1.3	94.8	—	866
84期末(2022年1月21日)	5,690	30	2.2	10,780	2.0	93.0	—	863

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

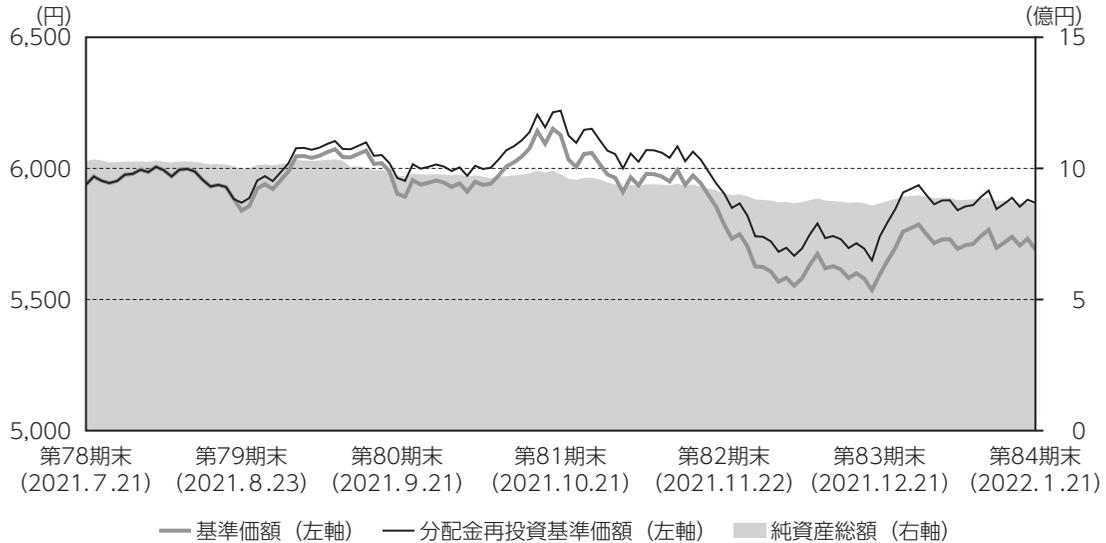
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率・売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第79期首：5,938円

第84期末：5,690円（既払分配金180円）

騰落率：△1.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因になりましたが、債券の価格下落や投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

	年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-Euro Broad Diversified (円 換 算) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率		騰 落 率		
第79期	(期首) 2021年7月21日	円 5,938	% -	10,699	% -	% 94.8	% -
	7月末	5,976	0.6	10,768	0.6	94.9	-
	(期末) 2021年8月23日	5,869	△1.2	10,587	△1.0	94.2	-
第80期	(期首) 2021年8月23日	5,839	-	10,587	-	94.2	-
	8月末	5,988	2.6	10,831	2.3	94.1	-
	(期末) 2021年9月21日	5,933	1.6	10,658	0.7	95.3	-
第81期	(期首) 2021年9月21日	5,903	-	10,658	-	95.3	-
	9月末	5,946	0.7	10,742	0.8	95.5	-
	(期末) 2021年10月21日	6,157	4.3	10,983	3.0	94.1	-
第82期	(期首) 2021年10月21日	6,127	-	10,983	-	94.1	-
	10月末	5,977	△2.4	10,810	△1.6	94.0	-
	(期末) 2021年11月22日	5,816	△5.1	10,708	△2.5	94.4	-
第83期	(期首) 2021年11月22日	5,786	-	10,708	-	94.4	-
	11月末	5,624	△2.8	10,487	△2.1	94.4	-
	(期末) 2021年12月21日	5,625	△2.8	10,570	△1.3	94.8	-
第84期	(期首) 2021年12月21日	5,595	-	10,570	-	94.8	-
	12月末	5,715	2.1	10,785	2.0	94.5	-
	(期末) 2022年1月21日	5,720	2.2	10,780	2.0	93.0	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.7.22～2022.1.21)

■債券市況・為替相場

新興国債券市場は、米国金利の上昇（債券価格は下落）や利上げなどの個別要因によって多くの国で金利が上昇しました。新興国為替相場は、個別要因などから通貨によってまちまちな動きとなりました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、米国で懸念されていた債務上限問題や中国大手不動産会社の社債利払いに対する懸念が後退した局面で市場のリスク回避的な姿勢が後退したことなどを背景に、それぞれ対円で上昇（円安）しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、トルコで利下げが実施されたことなどから、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、対円でほぼ横ばいとなりました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、米ドルの上昇などを背景に、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ブラジルの財政悪化懸念が高まったことなどを背景に、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、メキシコで利上げが実施されたことなどを背景に、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2021.7.22～2022.1.21)

■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

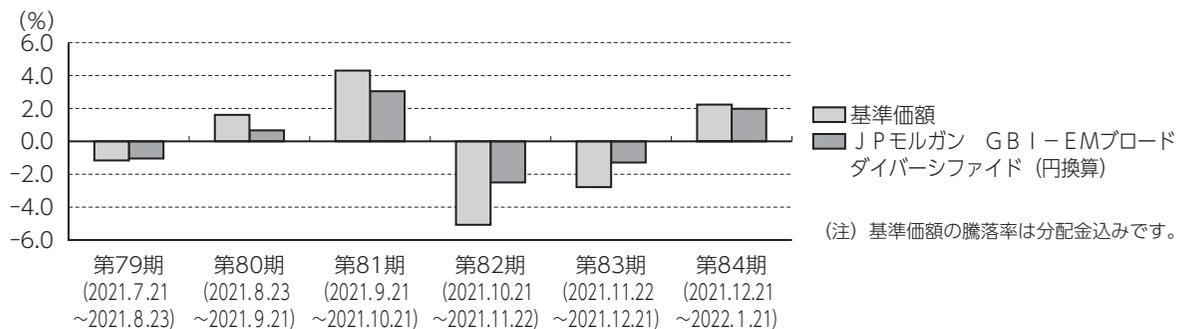
組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとし、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2021年7月22日 ～2021年8月23日	2021年8月24日 ～2021年9月21日	2021年9月22日 ～2021年10月21日	2021年10月22日 ～2021年11月21日	2021年11月23日 ～2021年12月21日	2021年12月22日 ～2022年1月21日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（％）	0.51	0.51	0.49	0.52	0.53	0.52
当期の収益（円）	26	28	30	25	22	30
当期の収益以外（円）	3	1	—	4	7	—
翌期繰越分配対象額（円）	233	232	234	229	222	222

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.11円	✓ 28.81円	✓ 31.71円	✓ 25.24円	✓ 22.21円	✓ 30.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	34.11	34.39	34.69	35.00	35.29	35.57
(d) 分配準備積立金	✓ 203.72	✓ 199.57	198.09	✓ 199.52	✓ 194.49	186.44
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	263.95	262.78	264.51	259.77	252.00	252.35
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	233.95	232.78	234.51	229.77	222.00	222.35

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	第79期～第84期 (2021.7.22～2022.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0.738%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,877円です。
（投 信 会 社）	(19)	(0.331)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.013	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.751	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

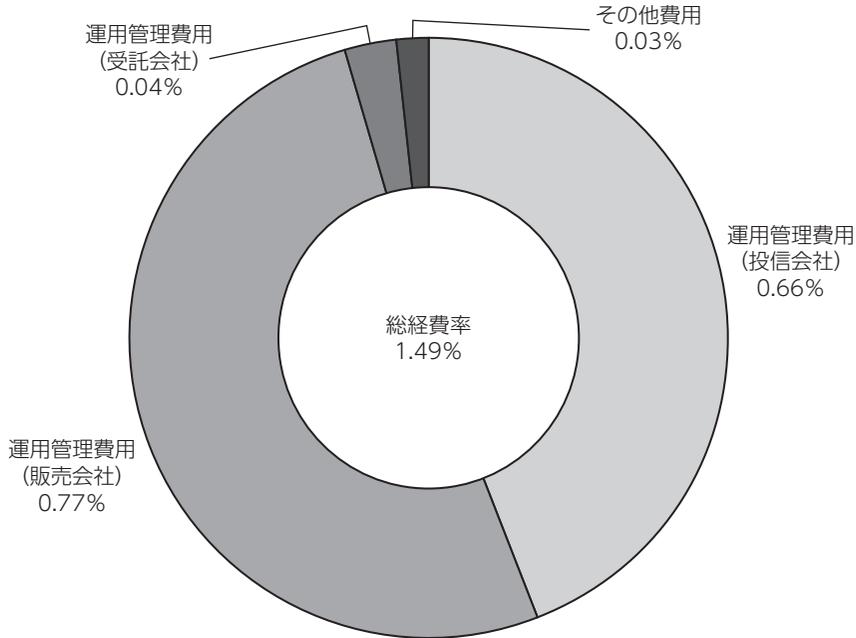
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年7月22日から2022年1月21日まで)

決算期	第79期～第84期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	1,154	1,144	163,004	163,161

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第78期末	第84期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	1,035,580	873,730	858,789

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月23日)、(2021年9月21日)、(2021年10月21日)、(2021年11月22日)、(2021年12月21日)、(2022年1月21日)現在

項目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
(A) 資産	1,006,369,914円	981,171,793円	995,407,343円	911,549,718円	875,955,678円	871,312,246円
コール・ローン等	11,293,259	10,792,188	10,716,019	10,331,607	9,825,797	9,878,012
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	991,895,595	967,888,145	972,855,545	901,218,111	862,179,401	858,789,408
未収入金	3,181,060	2,491,460	11,835,779	—	3,950,480	2,644,826
(B) 負債	9,593,637	8,559,902	17,758,381	5,939,370	9,605,543	8,266,614
未払収益分配金	5,120,884	4,942,722	4,786,582	4,695,171	4,645,150	4,550,694
未払解約金	3,101,104	2,418,286	11,769,486	—	3,897,200	2,571,494
未払信託報酬	1,364,034	1,184,663	1,181,485	1,216,580	1,029,821	1,104,885
その他未払費用	7,615	14,231	20,828	27,619	33,372	39,541
(C) 純資産総額(A-B)	996,776,277	972,611,891	977,648,962	905,610,348	866,350,135	863,045,632
元本	1,706,961,487	1,647,574,209	1,595,527,562	1,565,057,289	1,548,383,490	1,516,898,089
次期繰越損益金	△ 710,185,210	△ 674,962,318	△ 617,878,600	△ 659,446,941	△ 682,033,355	△ 653,852,457
(D) 受益権総口数	1,706,961,487口	1,647,574,209口	1,595,527,562口	1,565,057,289口	1,548,383,490口	1,516,898,089口
1万口当り基準価額(C/D)	5,839円	5,903円	6,127円	5,786円	5,595円	5,690円

*第78期末における元本額は1,730,445,312円、当作成期間(第79期～第84期)中における追加設定元本額は13,787,035円、同解約元本額は227,334,258円です。

*第84期末の計算口数当りの純資産額は5,690円です。

*第84期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は653,852,457円です。

■投資信託財産の構成

2022年1月21日現在

項目	第84期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	858,789	98.6
コール・ローン等、その他	12,522	1.4
投資信託財産総額	871,312	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.84円、1トルコ・リラ=8.514円、1メキシコ・ペソ=5.543円、1インド・ルピー=1.54円、100インドネシア・ルピア=0.80円、1ブラジル・リアル=20.934円、1ロシア・ルーブル=1.48円、1南アフリカ・ランド=7.47円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、第84期末における外貨建純資産(865,913千円)の投資信託財産総額(876,179千円)に対する比率は、98.8%です。

■損益の状況

第79期 自2021年7月22日 至2021年8月23日 第82期 自2021年10月22日 至2021年11月22日
 第80期 自2021年8月24日 至2021年9月21日 第83期 自2021年11月23日 至2021年12月21日
 第81期 自2021年9月22日 至2021年10月21日 第84期 自2021年12月22日 至2022年1月21日

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(A) 配当等収益	△ 280円	△ 125円	△ 137円	△ 166円	△ 154円	△ 89円
受取利息	11	8	1	1	－	1
支払利息	△ 291	△ 133	△ 138	△ 167	△ 154	△ 90
(B) 有価証券売買損益	△ 10,338,747	16,648,807	41,733,883	△ 47,442,964	△ 23,929,019	19,974,407
売買益	80,928	17,873,405	42,333,446	377,511	355,951	20,411,498
売買損	△ 10,419,675	△ 1,224,598	△ 599,563	△ 47,820,475	△ 24,284,970	△ 437,091
(C) 信託報酬等	△ 1,371,649	△ 1,191,279	△ 1,188,082	△ 1,223,371	△ 1,035,574	△ 1,111,054
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 11,710,676	15,457,403	40,545,664	△ 48,666,501	△ 24,964,747	18,863,264
(E) 前期繰越損益	△ 630,185,671	△ 623,674,417	△ 592,924,490	△ 545,726,186	△ 591,861,033	△ 607,960,450
(F) 追加信託差損益金	△ 63,167,979	△ 61,802,582	△ 60,713,192	△ 60,359,083	△ 60,562,425	△ 60,204,577
(配当等相当額)	(5,823,263)	(5,666,613)	(5,536,314)	(5,478,824)	(5,465,281)	(5,396,923)
(売買損益相当額)	(△ 68,991,242)	(△ 67,469,195)	(△ 66,249,506)	(△ 65,837,907)	(△ 66,027,706)	(△ 65,601,500)
(G) 合計(D+E+F)	△ 705,064,326	△ 670,019,596	△ 613,092,018	△ 654,751,770	△ 677,388,205	△ 649,301,763
(H) 収益分配金	△ 5,120,884	△ 4,942,722	△ 4,786,582	△ 4,695,171	△ 4,645,150	△ 4,550,694
次期繰越損益(G+H)	△ 710,185,210	△ 674,962,318	△ 617,878,600	△ 659,446,941	△ 682,033,355	△ 653,852,457
追加信託差損益金	△ 63,167,979	△ 61,802,582	△ 60,713,192	△ 60,359,083	△ 60,562,425	△ 60,204,577
(配当等相当額)	(5,823,263)	(5,666,613)	(5,536,314)	(5,478,824)	(5,465,281)	(5,396,923)
(売買損益相当額)	(△ 68,991,242)	(△ 67,469,195)	(△ 66,249,506)	(△ 65,837,907)	(△ 66,027,706)	(△ 65,601,500)
分配準備積立金	34,112,058	32,685,708	31,881,384	30,482,543	28,909,925	28,332,766
繰越損益金	△ 681,129,289	△ 645,845,444	△ 589,046,792	△ 629,570,401	△ 650,380,855	△ 621,980,646

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,458,030円	4,747,053円	5,060,938円	3,950,890円	3,440,244円	4,602,022円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,823,263	5,666,613	5,536,314	5,478,824	5,465,281	5,396,923
(d) 分配準備積立金	34,774,912	32,881,377	31,607,028	31,226,824	30,114,831	28,281,438
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	45,056,205	43,295,043	42,204,280	40,656,538	39,020,356	38,280,383
(f) 分配金	5,120,884	4,942,722	4,786,582	4,695,171	4,645,150	4,550,694
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	39,935,321	38,352,321	37,417,698	35,961,367	34,375,206	33,729,689
(h) 受益権総口数	1,706,961,487□	1,647,574,209□	1,595,527,562□	1,565,057,289□	1,548,383,490□	1,516,898,089□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期	第 84 期
1万口当り分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロードダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
9 期末(2020年1月21日)	円 9,718	円 50	% 3.7	11,752	% 4.3	% 95.7	% -	百万円 14
10期末(2020年7月21日)	8,456	50	△12.5	10,931	△7.0	92.8	-	13
11期末(2021年1月21日)	8,629	50	2.6	11,476	5.0	95.2	-	13
12期末(2021年7月21日)	9,029	50	5.2	11,750	2.4	94.5	-	14
13期末(2022年1月21日)	8,873	50	△ 1.2	11,838	0.8	92.7	-	14

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロードダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

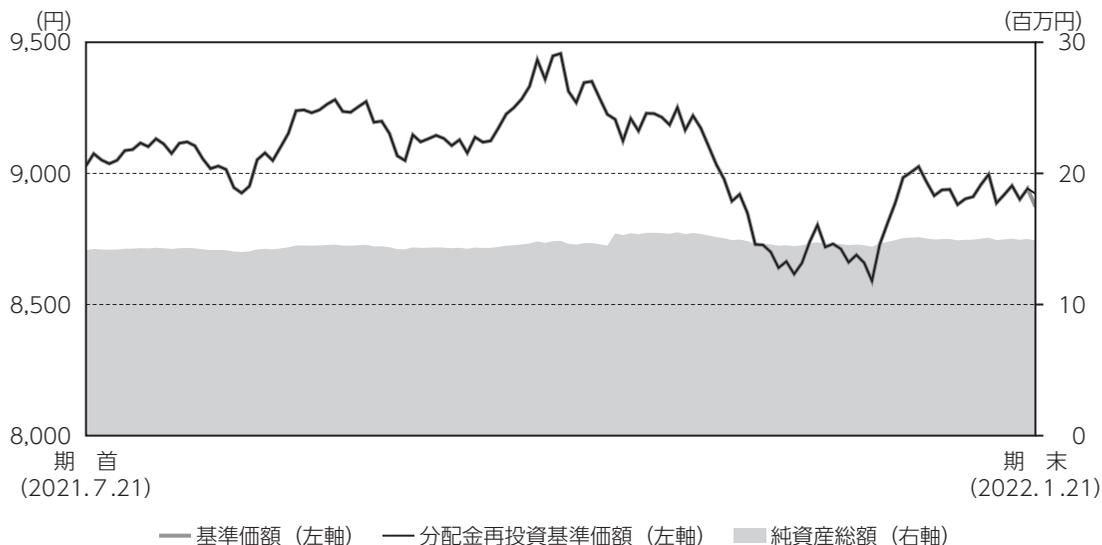
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,029円

期末：8,873円（分配金50円）

騰落率：△1.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラス要因になりましたが、債券の価格下落や投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ード ダイ バ ー シ フ ァ イ ド (円 換 算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期首) 2021年 7月21日	円	%		%	%	%
	9,029	－	11,750	－	94.5	－
7月末	9,087	0.6	11,825	0.6	94.6	－
8月末	9,152	1.4	11,894	1.2	93.9	－
9月末	9,133	1.2	11,797	0.4	95.4	－
10月末	9,225	2.2	11,872	1.0	93.9	－
11月末	8,727	△3.3	11,516	△2.0	94.1	－
12月末	8,915	△1.3	11,844	0.8	94.5	－
(期末) 2022年 1月21日	8,923	△1.2	11,838	0.8	92.7	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.7.22～2022.1.21)

■債券市況・為替相場

新興国債券市場は、米国金利の上昇（債券価格は下落）や利上げなどの個別要因によって多くの国で金利が上昇しました。新興国為替相場は、個別要因などから通貨によってまちまちな動きとなりました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、米国で懸念されていた債務上限問題や中国大手不動産会社の社債利払いに対する懸念が後退した局面で市場のリスク回避的な姿勢が後退したことなどを背景に、それぞれ対円で上昇（円安）しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、トルコで利下げが実施されたことなどから、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、対円でほぼ横ばいとなりました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、米ドルの上昇などを背景に、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ブラジルの財政悪化懸念が高まったことなどを背景に、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、メキシコで利上げが実施されたことなどを背景に、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2021.7.22～2022.1.21)

■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

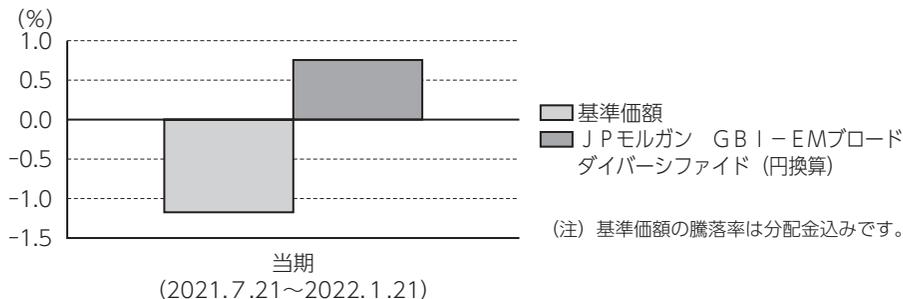
組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとし、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年7月22日 ～2022年1月21日	
当期分配金（税込み） (円)		50
対基準価額比率 (%)		0.56
当期の収益 (円)		50
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,680

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	221.46円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		548.60
(d) 分配準備積立金		1,960.31
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,730.38
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,680.38

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.7.22~2022.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.747%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,053円です。
（投 信 会 社）	(30)	(0.335)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(35)	(0.390)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	69	0.761	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

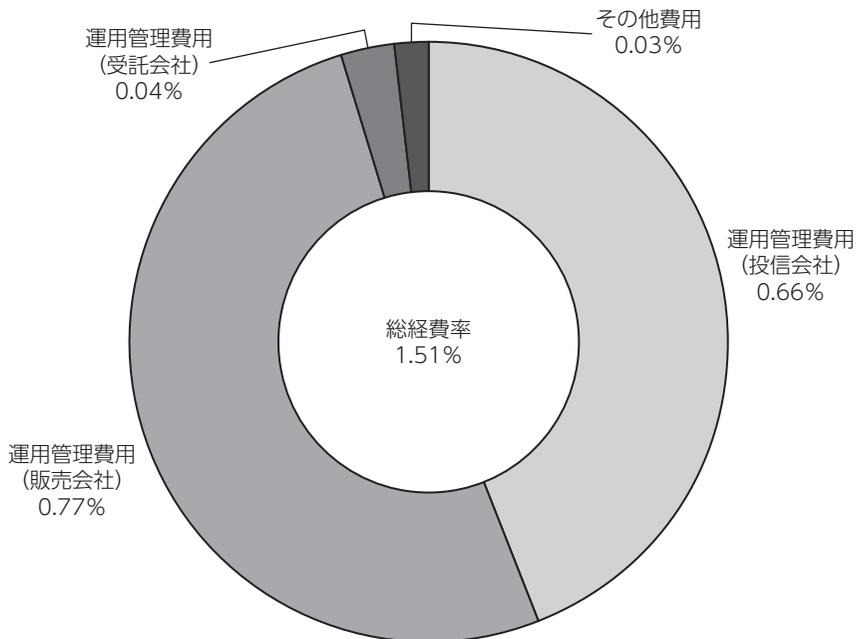
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年7月22日から2022年1月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	912	922	111	110

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	-	-	10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	14,228	15,029	14,772	14,772

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	14,772	98.0
コール・ローン等、その他	307	2.0
投資信託財産総額	15,080	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.84円、1トルコ・リラ=8.514円、1メキシコ・ペソ=5.543円、1インド・ルピー=1.54円、100インドネシア・ルピア=0.80円、1ブラジル・リアル=20.934円、1ロシア・ルーブル=1.48円、1南アフリカ・ランド=7.47円です。

(注3) ダイワ短期国際機関債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（865,913千円）の投資信託財産総額（876,179千円）に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年1月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,080,266円
コール・ローン等	307,412
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	14,772,854
(B) 負債	193,036
未払収益分配金	83,895
未払信託報酬	108,589
その他未払費用	552
(C) 純資産総額(A - B)	14,887,230
元本	16,779,007
次期繰越損益金	△ 1,891,777
(D) 受益権総口数	16,779,007口
1万口当り基準価額(C / D)	8,873円

* 期首における元本額は15,683,562円、当作成期間中における追加設定元本額は1,095,510円、同解約元本額は65円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,873円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,891,777円です。

■損益の状況

当期 自2021年7月22日 至2022年1月21日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 90,825円
売買損	△ 90,825
(B) 信託報酬等	△ 109,141
(C) 当期損益金(A + B)	△ 199,966
(D) 前期繰越損益金	△ 800,000
(E) 追加信託差損益金	△ 807,916
(配当等相当額)	(920,507)
(売買損益相当額)	(△1,728,423)
(F) 合計(C + D + E)	△1,807,882
(G) 収益分配金	△ 83,895
次期繰越損益金(F + G)	△1,891,777
追加信託差損益金	△ 807,916
(配当等相当額)	(920,507)
(売買損益相当額)	(△1,728,423)
分配準備積立金	3,576,920
繰越損益金	△4,660,781

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	371,599円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	920,507
(d) 分配準備積立金	3,289,216
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,581,322
(f) 分配金	83,895
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	4,497,427
(h) 受益権総口数	16,779,007口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 込 込)	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ短期国際機関債マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2022年1月21日)

(作成対象期間 2021年7月22日～2022年1月21日)

ダイワ短期国際機関債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

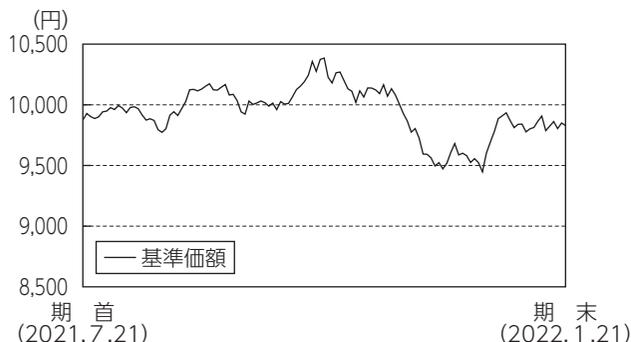
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての国際機関債
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		J.P.モルガン GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2021年7月21日	9,875	—	10,699	—	95.2	—
7月末	9,942	0.7	10,768	0.6	95.4	—
8月末	10,027	1.5	10,831	1.2	94.6	—
9月末	10,018	1.4	10,742	0.4	95.9	—
10月末	10,132	2.6	10,810	1.0	94.4	—
11月末	9,592	△2.9	10,487	△2.0	94.8	—
12月末	9,812	△0.6	10,785	0.8	95.1	—
(期末)2022年1月21日	9,829	△0.5	10,780	0.8	93.5	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J.P.モルガン GBI-EMブロード ダイバーシファイド(円換算)は、J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,875円 期末：9,829円 騰落率：△0.5%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因になりましたが、債券の価格下落や投資対象通貨が円に対して下落(円高)したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況・為替相場

新興国債券市場は、米国金利の上昇(債券価格は下落)や利上げなどの個別要因によって多くの国で金利が上昇しました。新興国為替相場は、個別要因などから通貨によってまちまちな動きとなりました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、米国で懸念されていた債務上限問題や中国大手不動産会社の社債利払いに対する懸念が後退した局面で市場のリスク回避的な姿勢が後退したことなどを背景に、それぞれ対円で上昇(円安)しました。

・欧州地域

トルコ・リラは、トルコで利下げが実施されたことなどから、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、対円でほぼ横ばいとなりました。

・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、米ドルの上昇などを背景に、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ブラジルの財政悪化懸念が高まったことなどを背景に、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、メキシコで利上げが実施されたことなどを背景に、対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではトルコ・リラとロシア・ルーブル、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・レアルとし、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2021年7月22日から2022年1月21日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 12,468 (—)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー 30,798	千インド・ルピー 42,080 (—)
国	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア 13,210,290	千インドネシア・ルピア 17,550,700 (—)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジル・リアル 2,021	千ブラジル・リアル 296 (—)
	ロシア	特殊債券	千ロシア・ルーブル 38,679	千ロシア・ルーブル 57,781 (—)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 3,308 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2021年7月22日から2022年1月21日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 7.875% 2023/3/14	105,682	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 6.25% 2021/12/22	140,153
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 5.5% 2023/3/20	60,726	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 4.5% 2022/1/27	74,821
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 6.5% 2023/6/19	47,120	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.45% 2021/11/8	56,690
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 8.25% 2023/1/30	42,847	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 5.95% 2022/10/27	48,850
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.04% 2022/5/27	19,490
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 4.6% 2022/4/21	18,512
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 5% 2021/12/7	16,096
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 5.85% 2022/11/25	7,742
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.5% 2022/5/9	6,209
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 8.375% 2022/7/29	6,139

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ短期国際機関債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	未 期		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			残 存 期 間	別 組 入 比 率	2 年 未 満
トルコ	千トルコ・リラ 7,800	千トルコ・リラ 6,978	千円 59,417	% 6.8	% -	% -	% -	% 6.8
メキシコ	千メキシコ・ペソ 15,000	千メキシコ・ペソ 14,964	82,953	9.5	-	-	-	9.5
インド	千インド・ルピー 55,000	千インド・ルピー 55,493	85,459	9.8	-	-	-	9.8
インドネシア	千インドネシア・ルピア 15,190,000	千インドネシア・ルピア 15,694,308	125,554	14.4	-	-	-	14.4
ブラジル	千ブラジル・レアル 6,600	千ブラジル・レアル 6,320	132,315	15.1	-	-	-	15.1
ロシア	千ロシア・ルーブル 83,000	千ロシア・ルーブル 80,377	118,958	13.6	-	-	-	13.6
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 28,200	千南アフリカ・ランド 28,354	211,808	24.2	-	-	-	24.2
合 計	-	-	816,466	93.5	-	-	-	93.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	% 11.0000 12.5000	千トルコ・リラ 4,000 3,800	千トルコ・リラ 3,690 3,288	千円 31,421 27,995	2022/08/25 2023/02/09
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		7,800	6,978	59,417	
メキシコ	INTL. FIN. CORP. EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.0400 5.9500	千メキシコ・ペソ 10,000 5,000	千メキシコ・ペソ 10,021 4,943	55,551 27,401	2022/05/27 2022/10/27
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		15,000	14,964	82,953	
インド	INTL. FIN. CORP. EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	5.8500 6.5000	千インド・ルピー 25,000 30,000	千インド・ルピー 25,102 30,390	38,658 46,801	2022/11/25 2023/06/19
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		55,000	55,493	85,459	
インドネシア	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	7.8750	千インドネシア・ルピア 15,190,000	千インドネシア・ルピア 15,694,308	125,554	2023/03/14
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	1銘柄		15,190,000	15,694,308	125,554	
ブラジル	INTL. FIN. CORP. INTL. FIN. CORP. EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券 特 殊 債 券 特 殊 債 券	7.5000 8.2500 2.8500	千ブラジル・レアル 1,500 2,000 3,100	千ブラジル・レアル 1,493 1,943 2,882	31,272 40,693 60,348	2022/05/09 2023/01/30 2022/12/13
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	3銘柄		6,600	6,320	132,315	
ロシア	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT INTL. FIN. CORP.	特 殊 債 券 特 殊 債 券	6.7500 5.5000	千ロシア・ルーブル 43,000 40,000	千ロシア・ルーブル 42,135 38,242	62,360 56,598	2022/11/14 2023/03/20
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		83,000	80,377	118,958	
南アフリカ	EUROPEAN INVESTMENT BANK EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特 殊 債 券 特 殊 債 券	8.3750 4.6000	千南アフリカ・ランド 15,200 13,000	千南アフリカ・ランド 15,398 12,956	115,024 96,783	2022/07/29 2022/04/21
通貨小計	銘 柄 数 額 金 額	2銘柄		28,200	28,354	211,808	
合 計	銘 柄 数 額 金 額	14銘柄		-	-	816,466	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	816,466	93.2
コール・ローン等、その他	59,712	6.8
投資信託財産総額	876,179	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.84円、1トルコ・リラ=8,514円、1メキシコ・ペソ=5,543円、1インド・ルピー=1.54円、100インドネシア・ルピア=0.80円、1ブラジル・リアル=20,934円、1ロシア・ルーブル=1.48円、1南アフリカ・ランド=7.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（865,913千円）の投資信託財産総額（876,179千円）に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年1月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	876,179,397円
コール・ローン等	26,323,556
公社債(評価額)	816,466,562
未収利息	19,511,760
前払費用	13,877,519
(B) 負債	2,644,826
未払解約金	2,644,826
(C) 純資産総額(A - B)	873,534,571
元本	888,760,060
次期繰越損益金	△ 15,225,489
(D) 受益権総口数	888,760,060口
1万口当り基準価額(C/D)	9,829円

* 期首における元本額は1,049,809,577円、当作成期間中における追加設定元本額は2,067,064円、同解約元本額は163,116,581円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ短期国際機関債ファンド(年2回決算型) -成長の絆(年2回) - 15,029,865円
 ダイワ短期国際機関債ファンド(毎月分配型) -成長の絆- 873,730,195円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,829円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は15,225,489円です。

■損益の状況

当期 自2021年7月22日 至2022年1月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	30,525,358円
受取利息	30,526,162
支払利息	△ 804
(B) 有価証券売買損益	△32,416,676
売買益	17,649,831
売買損	△50,066,507
(C) その他費用	△ 96,545
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 1,987,863
(E) 前期繰越損益金	△13,082,656
(F) 解約差損益金	△ 154,987
(G) 追加信託差損益金	17
(H) 合計(D + E + F + G)	△15,225,489
次期繰越損益金(H)	△15,225,489

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。